

基山町まち・ひと・しごと創生推進会議

(要点筆記)

日 時：令和元年10月25日（金）15時30分～16時40分

場 所：基山町役場 4階大会議室

出席委員：11人

森田昌嗣 会長、平瀬有人 副会長、内山正光 委員、
原憲一 委員、天本正弘 委員、松下達也 委員（代理：柳島一清）
岩永幸三 委員（代理：久保みどり）、山下敦史 委員、眞子義孝 委員、
納富健二 委員、酒井英良 委員

欠席委員：3人

田口英信 委員、岡本哲男 委員、田中光一 委員

事務局：3人

総務企画課：熊本課長、熊本主幹、則本主任

傍聴者：1人

1 開会

2 会長あいさつ

3 議事

(1) 第2期基山町まち・ひと・しごと創生総合戦略の策定に伴う人口ビジョンの見直しについて

(2) 第2期基山町まち・ひと・しごと創生総合戦略の素案について

(3) 第2期基山町まち・ひと・しごと創生総合戦略の策定スケジュールについて

4 その他

事務局進行

1 開会

2 町長あいさつ

省略

3 議事

(1) 第2期基山町まち・ひと・しごと創生総合戦略の策定に伴う人口ビジョンの見直しについて

事務局から説明

－質問等－

- ・(委員) シミュレーション1～3はどのような考え方でパターンを分けているのか。簡単で構わないので説明をいただきたい。
- ・(事務局) 資料1P.16を参照いただきたい。シミュレーションのパターンとして、社人研のパターンと、シミュレーション1は社人研を基にした基山町独自の推計パターン、2は住宅施策を行うとしたパターン、3は住宅施策と空家等の人口増の施策を行った場合のシミュレーションとなっている。4年前の策定時と同様の考え方でシミュレーションしている。
- ・(委員) 基山町推計の中で、合計特殊出生率が2020年に1.38、2030年に1.77と仮定しているが、現在は2019年になるが2020年の1.38はどのような見込みになっているか。
- ・(事務局) 近年の推移では1.38は厳しい状況ではないかと思っている。そのようなことも踏まえると、直近の2020年が推計されているが、今回時点修正を前回並みで行ってしまうと、現実と乖離してしまうと考えている。そのため、統計としてでた直近の数字のみを修正し、推計値については前回のものを使用するという整理にしたい。
- ・(委員) 前回の人口推計は2010年の国勢調査を基としているが、今回はどこを基準とするか。
- ・(事務局) 2010年を基準とした人口シミュレーションは現実的な数値を算出しているように考えている。そのため、今回は将来推計を大きく変える必要はないと考えている。2015年は統計で出た実数値に変えるということになる。

- ・(委員) 現行の推計値は2010年の統計調査の数値を基にした推計値であり、今回は2015の統計で出た数値を使うのであれば、推計値は変わってくるのではないか。
- ・(事務局) 今回2015年の国勢調査の数値に変えることは、2010年に推計したもののなかに途中経過を入力したものであり、推計値は2010年のものということになる。総合計画の中で2025年の努力人口目標を18,000人としていることから、現行の人口ビジョンの推計値でいければと思う。今回の基準を使って、2025年に18,000人に近い数値になるよう全体的に変更するという手法もある。
- ・(委員) シミュレーション2・3は住宅施策を行うこととした推計であり、現時点での施策はまた変わってきているので、推計も変わってくるのではないか。
- ・(事務局) 今回あくまで、2010年の推計値に2015年の統計値を入れかえた、実績値をいれてみた、という変更としたい。2040年までの長期的に見通しをたてたビジョンであるので、前回策定から4年ですべてを変えてしまうのに違和感があった。
- ・(委員) 人口ビジョンは30年間の人口を見通したものではなく、2010年や2015年の国勢調査の値を使って推計した、というだけのものではないか。総合戦略を策定するタイミングで人口ビジョンも見直していこう、というものではないかと思っている。
- ・(委員) 10年前と比べて外国人の比率が上がっているが、人口ビジョンのシミュレーションを大きく変えていかなければ、策定当時に外国人の比率が上がっていくよう加味して作成されたものなのかを伺いたい。
- ・(委員) どちらを選択するかの問題であると思う。現在策定されている人口ビジョンに実績値を落とし込むのか、その都度変更していくのか。変更していくなれば、シミュレーションの数字も少しずつ変わってくると思う。佐賀県内のその他の自治体は時点修正が多く、事務局案はそれに沿っているものである。
- ・(委員) 現在の人口の数と、人口ビジョンで推計されている数字は非常に近い。そのため、変更の有無に関してはそこまでシビアになる必要はないと率直に感じている。事務局案でもよいのではないだろうか。
- ・(事務局) 現在の人口の数と比較したときに、策定時のシミュレーションは現実味を帯びていたと考えていた。

- ・(委員) 4年程でそんなに大きくブレがでるとは思わないので、変更しなくてもよいのではないか。
- ・(委員) 申し上げたいのは、総合戦略を見直す際に人口ビジョンも見直した方がよいのではないか、ということである。
- ・(事務局) 人口ビジョンの数値は更新する予定である。2015年の国勢調査等直近の実数値を反映させていく。また、外国人の人数については、それに特化して数値を出すことは難しいと感じている。

【会長】

事務局からの説明に対し、異議がある方はいらっしゃいますか。

⇒異議なし

(2) 第2期基山町まち・ひと・しごと創生総合戦略の素案について

—事務局から説明—

—質問等—

- ・(委員) 関係人口については考え方が難しいと思う。実にするのか、延べにするかでも随分と変わってくる。そのため、それぞれの自治体で考え方をはっきりとさせておけば問題ないと思う。
- ・(委員) 実人数を算出するのは難しいので延べ人数になるかなと思う。
- ・(委員) 前回の総合戦略とは構成が大きく変わるものとして認識してよいか。
- ・(事務局) 前回の総合戦略からよりわかりやすくするために、変更したものもある。
- ・(委員) 前回は事業ごとにKPIに設定していたが、今回はそれに沿わないものとしたのか。
- ・(事務局) 事業ごとにKPIを設定すると全体で84もあった。KPIの多い少ないが善し悪しではないが、近隣自治体と比較してもKPI数は減らしてもよいのではないかと考えて、次期総合戦略は少しへらすようにしてみた。
- ・(委員) 事業ごとにKPIを設定すると少し無理矢理設定している感じもしていた。適切なKPIの設定はとても難しい。

- ・(委員) 今回新しく入ったSDGsはどのように考えるか。
- ・(事務局) 総合戦略の冒頭で説明を入れているが、17 目標を説明したものを資料として挿入しておく。SDGsのどの目標に寄与するか、という意味で記載している。
- ・(委員) そのような意味でみると、SDGsと事業の整合性が取れていないところがあるのでもう一度確認してほしい。

【会長】

事務局からの説明に対し、異議がある方はいらっしゃいますか。

⇒異議なし

(3) 第2期基山町まち・ひと・しごと創生総合戦略の策定スケジュールについて
事務局から説明

—質問等—

質問等なし

【会長】

事務局からの説明に対し、異議がある方はいらっしゃいますか。

⇒異議なし

(4) その他

～16時40分閉会～